

業界PEST分析 (自社ネット通販事業フルーツShomeidoの事例)

Politics 政治観点

法律、税制、補助金制度、国内政策、規制

1. 食品表示法の施行：国産果物において、生産地の都道府県名、輸入品では原産国名の表示が義務付けられた
2. 日本政策金融公庫では、食料品小売業に対する様々な食品貸付制度がある。その他地方自治体でも「企業再生支援融資」などがある

Economy 経済的観点

雇用・賃金動向（国民が稼げるお金の変化）、最終消費財への消費者の消費動向、当企業が属する市場の規模と今後の展望

1. 物価は上昇しているが、実質賃金も上昇しているため底堅い消費活動が期待される
2. 雇用情勢は経済社会活動が徐々に活発化する中で堅調に改善している
3. 平均消費性向は35歳以上の年齢で上昇している
4. 果物の年間家計消費支出は横ばい傾向にある

PEST 分析

Society 社会的観点

最終消費者の人口動態や居住地の変化、最終消費者のライフスタイル、価値観、市場内の顧客のニーズ

1. コロナ禍の3年間ににおいても贈り方は「手渡し」が主流
2. ギフト購入で不便だと感じていることは、相手の好み分からない、何を贈ったらいいか分からない、相手の好みに合うか不安、何を参考にしてギフトを選ぶべきか分からないというもの
3. ギフト購入場所は総合ECサイトが首位
4. 一般消費者が果物を毎日とらない理由：「他の食品に比べて値段が高いから」が最も高い

Technology 技術的観点

財・サービス生産や提供に関わる開発・生産技術の変化、消費者の行動様式が変わるような技術の進展・革新【インターネット、SNS、AI技術】

—生産技術の変化—

- ・温室・ビニールハウス栽培の普及、早生果実の改良など栽培・生産技術の向上
- ・保存・冷凍技術の進歩により供給量の平準化、出回り期間の長期化

—消費者動向を変える技術変化—

- AIやサーチエンジンの発達により、消費者ニーズにあった商品提案の自動化・最適化